

循環型社会形成推進基本計画の概要

現状と課題

現状：非持続的な 20 世紀型の活動様式

- 課題
- ・循環を基調とする社会経済システムの実現
 - ・廃棄物問題の解決

循環型社会のイメージ

暮らし：良いものを大事に使う「スロー」なライフスタイル

ものづくり：長寿命化、リース・レンタル

数値目標：2000～2010 年度

1 物質フロー（マテリアル・フロー）目標

「入口」：資源生産性 平成 22 年度：約 39 万円/トン（平成 12 年度から概ね 4 割向上）

* 資源生産性 = GDP / 天然資源等投入量：いかにより少ない資源で、より大きな豊かさを得るかを表す値

「循環」：循環利用率 平成 22 年度：約 14%（平成 12 年度から概ね 4 割向上）

「出口」：最終処分量 平成 22 年度：約 28 百万トン（平成 12 年度から概ね半減）

2 取組目標

- ・1 人 1 日あたりごみ排出量の 20%削減、
- ・循環型社会ビジネスの市場・雇用規模の倍増等

各主体の取組

国：各主体とのパートナーシップの育成、率先した循環型社会形成への取組

国民：ライフスタイルの見直し等

事業者：EPR に基づく適正な 3R・処分等

NPO・NGO：循環型社会形成への活動等

地方公共団体：法施行・コーディネーター